



むすぶしょうてんがいへ ようこそ！

遊戯室が「むすぶしょうてんがい」に変身！先日の作品展では、たくさんの方々に日頃子どもたちが楽しんでいることをご覧いただきました。

子どもたちは、生活の中で感じたことや考えたことを様々な表現しようとしています。家庭や園での生活の中で体験したことを再現して楽しんだり、友達や教師に伝えようとしていたり、さらに工夫を重ねてイメージを広げたり…。



年長さんが始めたATM ごっこがきっかけで、様々なお店や遊びが広がっていきました。お家の人と一緒にATMに行ったときに、興味をもってよく見ていたのでしょうか。カードを入れ、ボタンを押すとお金が出てくるという仕組みがちゃんと再現されていました。ATMをよく知らない子どもたちも、その遊びの面白さを感じ取っていました。お金を手にすると買い物に行きたくなります。ハンバーガーショップ、ケーキ屋さん、お花屋さん、金魚すくい屋さん、博物館…楽しい場が次々に展開していきました。

ハンバーガーショップで遊ぶ中では、実際にお家の人に連れて行ってもらって店内外や道具などの様子をリサーチし、その情報を友達に発信している姿がありました。情報をもった子は目をキラキラさせ、「(こんなにいいことを教えてくれて) ありがとう！」と感謝の眼差しを向け、一緒になって更にお店を本物らしくすることで楽しさが増したようでした。園で楽しかったことを持ち帰り、翌日の遊びに目的をもって登園してくる子どもたちの生き生きとした顔！お家の方が子どもたちの声に耳を傾け、寄り添ってくださるからこそその姿です。感謝です。

年長さんの遊びを行き来しているうちに、年中組にも見よう見まねの「ばらぐみぎんこう」が出来上がり、同じように遊び始めました。それぞれに開店していたハンバーガーショップも遊んでいるうちに合同経営に。お客さんで来ていた年少さんが、年中・年長さんの面白そうな様子に誘われ、いつの間にかやら店員さんになって働いていたり、年中・年長さんはそれをすんなりと受け止めていたり…。



お店屋さんにはドライブスルーが導入されると、車に乗りたくて大混雑。車の待合ができる、年中・年長さんが、「はい、お隣りへ。」「次だよ。」と声を掛けてくれたので、繰り返し遊ぶ中で年少さんも満3歳児さんも「順番に待つ」ことを学ぶことができました。

このように、「むすぶしょうてんがい」のあちらこちらに、子どもたちの楽しさ、学び、温かさがたくさん溢れていました。

10月生まれの誕生会



跳べるようになった跳箱を披露！

パン屋さん開店



箕輪菓子店さんから本物のパンを買って、パン屋さんを開きました（金融教育の一環です）

サツマイモ掘り



えいごであそぼう⑥

